



死亡災害事例

墜落 5

事故の型

墜落・転落

業種

建築工事業

被災者

圧送工(60代)

経験年数

30年以上40年未満

発生状況

地上9階建て建築物の新築工事において、6階梁型枠上（地上からの高さ19.2m）でコンクリート打設作業中に流し込んだコンクリートが型枠から溢れたため、それを手で拾い上げようとして腰を下ろし、立ち上がろうとしたところ、バランスを崩して14.5m下にある外部足場の頭つなぎ単管上（地上からの高さ4.7m）に墜落した。（平成27年9月）



原因と対策

(原因)

- ・高所作業であったにもかかわらず、安全帯を使用していなかった。
- ・安全帯の使用を怠った場合における有効な墜落防止措置を講じていなかった。

(対策)

- ・現場責任者が安全帯の使用状況を確認するとともに、使用状況のチェック体制について整備すること。
- ・安全帯の使用に加えて、有効な墜落防止措置を講じること。